

基本目標 2

健康としあわせ広がる ふれあいのまち

医療・保健・福祉

すべての市民が心身ともに健康で互いに支え合い、幸せに暮らしていけるよう、「保健・福祉・医療・介護」の連携のもとに適切なサービスの提供と健康づくりの充実に努めます。

また、医療のまちとして、多様化・高度化しつつある医療ニーズに応えるため、地域の基幹病院である市立病院を中心として、各医療機関と連携するとともに、地域包括的な医療の充実に努め、健康と幸せをもたらすまちを目指します。

施策	2-1	高齢者福祉 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	56
施策	2-2	子育て支援、母子・父子福祉 子どもの健やかな成長を支えるまちづくり	58
施策	2-3	障がい者福祉 障がい者が地域で安心して生活できるまちづくり	60
施策	2-4	地域福祉 地域で支え合う福祉のまちづくり	62
施策	2-5	健康 健康づくりを進めるまちづくり	63
施策	2-6	医療 誰もが安心して医療を受けることができるまちづくり	65
施策	2-7	社会保障制度 社会保障制度の健全運営に努めるまちづくり	68

施策 2-1 高齢者福祉
高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

目標

高齢者がいきいきと自立した生活を送ることができるよう、介護予防サービスなどの推進により、介護を必要としない活動的な生活を保ち、介護が必要になったときにも、サービスの提供や地域の支え合いによって幸せに暮らせるまちを目指します。

現状と課題

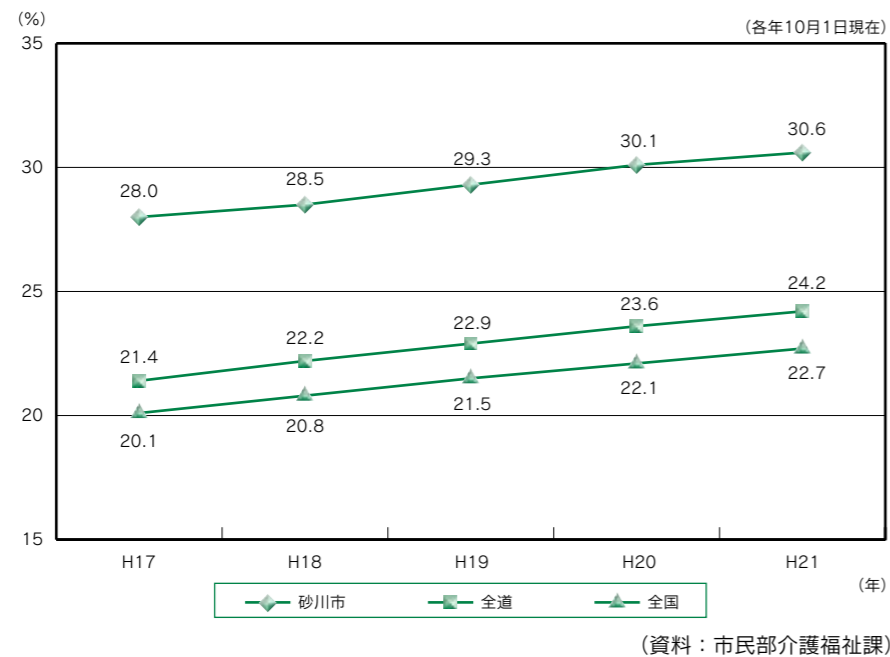
本市の高齢化率は30%を超え、さらに、今後は*団塊の世代が高齢者となることから、高齢化がより一層進行し、高齢者の生活環境や生活様式も多様化してきており、新たな高齢者像を視野に入れた福祉サービスの構築を進めることが課題となっています。

このことから、*ライフスタイルや福祉*ニーズの多様化を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活を送ることができるよう、老人クラブ等の高齢者の主体的な活動を支援し、社会参加や生きがいつくりのための環境整備に努めるとともに、介護予防事業の推進や生活支援など、高齢者福祉対策の充実を図る必要があります。

また、高齢者及び高齢者世帯のさらなる増加が予想される中、できるだけ在宅で高齢者が生活を維持していくためには、*地域包括支援センターによる相談や支援活動などを推進するとともに、地域において見守りなどを行う地域福祉活動（民生委員、市民、ボランティア等）との連携を図り、地域包括ケア体制の確立に努める必要があります。

さらに、社会的問題となっている認知症高齢者等への支援体制の強化や高齢者虐待防止の取り組みの拡充を図るとともに、介護者の負担を軽減するための支援を充実させ、介護者も元気に安心して生活ができる環境づくりを進める必要があります。

高齢化率の推移



用語解説

- * 団塊の世代……戦後のベビーブームに誕生した年齢層で、その前後と比較して人口の多い世代。
- * ライフスタイル……生活様式。人生観、価値観など個人の持つものの見方や考え方、生き方。
- * ニーズ……需要。必要性。
- * 地域包括支援センター……高齢者に対する生活支援の相談、介護予防ケアマネジメントなどを総合的に行う機関。

基本事業とねらい

① 社会参加と生きがいつくりの支援

高齢者が生きがいに満ちた豊かな生活を送れるよう、高齢者自らが学習・文化・スポーツ活動や地域活動などを通じ、地域社会へ積極的に参加できる環境づくりを進めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
高齢者人口に占める生きがい事業参加者の割合	%	9.9	11.0	12.0

* 65歳以上人口のうち、ふれあい講座・サークル活動に参加した人の割合

② 介護予防の推進

高齢者が生涯を通じて健康で、できる限り介護を必要とせず、住み慣れた地域や家庭で自立して安心して生活を送れるよう、各種介護予防事業の充実を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
介護予防事業参加者数	人/年	4,608	5,000	5,300

* 介護予防教室・老人クラブ健康相談・老人クラブ健康教育・ふれあい講座へ参加した年間延べ人数

③ 高齢者及び要介護者等への支援体制の充実

高齢者が認知症や要介護状態になったときやその介護者などが支援を必要とするときに対応するため、地域包括支援センターを中心に、介護サービス事業者、医療機関、地域団体などの関係機関が連携し、支援体制の充実を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
介護認定者総数に占める居宅サービス利用者の割合	%	44.3	→	→

* 要介護（要支援）認定者のうち、居宅介護（介護予防）サービスを利用した人の割合

関係個別計画

- ・砂川市老人保健福祉計画
- ・介護保険事業計画



施策 **2-2** 子育て支援、母子・父子福祉
子どもの健やかな成長を支えるまちづくり

■ **目標**

子育て支援サービスの充実を図り、安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、母子・父子家庭などのひとり親家庭の自立を支援し、幸せに生活することができるまちを目指します。

■ **現状と課題**

全国的な傾向である少子高齢化や核家族化は、本市でも進行しており、出生数の減少などにより、子どもの人口は減少傾向にあります。

一方で、女性の就業率は上昇しており、男女がともに家庭生活と職業生活を両立することができるような取り組みが求められています。

このような社会情勢の変化に伴い、子どもや家庭に対しての支援が必要となっていることから、「砂川市次世代育成支援地域行動計画」に基づき、*子育て支援センターを拠点に、家庭での子育てに関する相談・支援・情報提供の充実を図るとともに、子ども同士、親同士の交流機会の創出や、地域の連携による子育てボランティアの育成など、地域社会における子育て環境の整備を図っていく必要があります。

また、保育所では、子育てと仕事の両立を支えるため、通常の保育に加え、休日保育等の多様なニーズに対応した保育内容の充実や、就学児童を対象とした学童保育の充実を図る必要があります。

保育所入所者数の推移

(単位：人)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度
空知太保育所	50	44	53
ひまわり保育園	95	95	96
さくら保育園	94	88	93
合 計	239	227	242

* 各年度月平均入所者数

(資料：市民部社会福祉課)

学童保育所入所者数の推移

(単位：人)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度
砂川中央学童保育所	19	21	15
砂川南学童保育所	46	38	41
北光学童保育所	17	23	26
空知太学童保育所	18	23	29
合 計	100	105	111

* 各年度月平均通年登録者数

(資料：市民部社会福祉課)

用語解説

* 子育て支援センター……子育て家庭などの育児相談や子育てサークルへの支援など、地域の子育てを支援する施設。

■ **基本事業とねらい**

① **保育サービスの充実**

働きながら安心して子育てができるよう、家庭環境の変化等に伴う多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図ります。

指 標 名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
保育所待機児童数*1	人	0	0	0
休日保育実施箇所数*2	箇所	0	1	1

*1 保育所の入所を待機している児童数

*2 休日保育を実施する保育所の箇所数

② **児童育成環境の充実**

児童が安全・安心に過ごすことのできる居場所の充実や学童保育事業を進め、遊びや体験、集団での生活を通して感性や思いやりのある心を育てます。また、児童虐待防止のネットワークにより、子どもへの虐待の予防や早期発見、相談などを行い、児童の育成環境の充実を図ります。

指 標 名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
学童保育所待機児童数	人	0	0	0

* 学童保育所の入所を待機している児童数

③ **ひとり親家庭の支援**

ひとり親家庭が安定した生活を送れるよう、ハローワーク（公共職業安定所）等の関係機関と連携し、相談や自立支援に努めます。特に母子家庭は悩みを多く抱えていることから、母子自立支援員による相談・助言や情報提供を行い、不安の解消と家庭生活の安定・向上に努めます。

指 標 名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
ひとり親家庭相談件数*1	件/年	33	40	50
就業支援策により就業に結びついたひとり親世帯数*2	世帯/年	1	2	3

*1 母子自立支援員がひとり親家庭に対し、相談や情報提供等を行った件数

*2 ひとり親家庭への就業支援策により、就業に結びついた世帯数

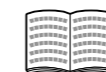
④ **子育て支援環境の充実**

親子のふれあいや子育て中の人と交流できる場を充実させ、子育てに関する相談や情報提供を行います。また、地域における子育て支援を推進し、安心して子どもを育てられる環境づくりに努めます。

指 標 名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
子育て相談件数*1	件/年	256	280	300
ファミリーサポートセンター実施箇所数*2	箇所	0	1	1

*1 子育て支援センターにおける、子育て相談や情報提供等を行った件数

*2 ファミリーサポートセンターの実施箇所数



関係個別計画

・ 砂川市次世代育成支援地域行動計画

施策 **2-3** 障がい者福祉
障がい者が地域で安心して生活できるまちづくり

■目標

障がい者への福祉サービスの提供を図り、住み慣れた地域で安心した生活を送り、自立や社会参加ができるまちを目指します。

■現状と課題

障害者自立支援法の施行に伴い、障害の種別に関わらず、共通の仕組みによってサービスが利用できるようになるなど、障がい者を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、障がい者数は年々増加傾向にあり、サービス提供環境が整備されてきたことなどから、サービス利用者も増加しており、障がい者一人ひとりが自己選択のもと、自立した生活を実現できるような地域社会の構築が求められるようになってきています。

本市では、「砂川市障害者福祉計画」に基づき、*ノーマライゼーション社会の実現を目指した各種福祉施策を推進しています。

今後も、保健・医療・福祉などの関係機関の連携により、福祉サービスの充実を図り、ともに地域で生活していくという意識の醸成や社会参加の促進に向けた支援に取り組む必要があります。

また、障がい者が地域で安全・安心に暮らすことができるよう、公共施設や道路などの*バリアフリー化を推進するとともに、子どもの障害の早期発見、早期療育や、自立に向けた就労促進のための支援体制を充実していく必要があります。

障害者手帳所持者数の推移

(単位：人)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
身体障害者手帳	聴覚障害	146	142	123	113	110
	視覚障害	75	70	74	73	71
	言語障害	14	14	12	12	12
	内部障害	279	282	292	316	312
	肢体不自由	730	727	714	731	708
	計	1,244	1,235	1,215	1,245	1,213
精神障害者保健福祉手帳	56	60	77	93	108	
療育手帳	262	268	273	277	281	
合 計	1,562	1,563	1,565	1,615	1,602	

(資料：市民部社会福祉課)

用語解説

- * ノーマライゼーション社会……障害のあるなしにかかわらず、すべての人が人間として同じように生活を送ることができ、共に生きていく社会。
- * バリアフリー化……心身の障害などでハンディキャップのある人にとって、障壁(バリア)となる物理的、制度的、文化・情報面、意識を取り除くこと。

■基本事業とねらい

①障がい者福祉サービスの充実

障がい者が自らの選択で、適性や能力に応じて必要な福祉サービスを受けることができるよう、障害福祉サービスの充実を図り、障がい者の自立を支援します。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
地域生活支援事業利用件数	件/年	514	530	550

* 日常生活用具給付、移動支援等の地域生活支援事業の利用件数

②生活環境整備の推進

障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、安心して快適に地域で暮らせるよう、道路や住宅、公共交通機関のバリアフリー化を推進します。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
歩道などの公共施設のバリアフリー化の推進について満足している障がい者の割合	%	-	30.0	50.0

* 市内公共施設のバリアフリーに満足している障がい者の割合(今後、障がい者を対象としたアンケートを行い、満足度を計ります)

③雇用と就労の推進

障がい者の自立を促進するため、ハローワーク(公共職業安定所)や企業などと連携し、障がい者雇用に対する企業意識を高めるとともに、就職に関する相談支援のネットワークを充実させ、雇用と就労機会の拡大に努めます。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
一般就労への移行者数	人/年	0	1	2

* 授産施設や作業所等の福祉的就労から一般就労へ移行した障がい者の人数

④相談支援体制の充実

障がい者への福祉制度や福祉サービスの周知を行うとともに、圏域障がい者総合センターとの連携や自立支援協議会の設置を図り、障がい者の困りごとの解決や福祉サービスの利用相談などで障がい者の生活改善を支援します。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
地域活動支援センター相談件数	件/年	650	670	700

* 地域活動支援センターにおける、障がい者やその家族等に対し、相談や情報提供等を行った件数

⑤早期療育の充実

医療・福祉・教育などの関係機関の連携により、障害を早期に発見し、早い段階で療育体制を築くことで、障がい児に適した支援を行い、障害の軽減や社会適応能力の向上を図ります。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
健診、相談により早期発見された要支援児数	人/年	27	30	30

* 3歳児健診での発達相談において療育が必要とされ、支援等を行った幼児数



関係個別計画

- ・砂川市障害者福祉計画
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画

施策 **2-4** 地域福祉
地域で支え合う福祉のまちづくり

■目標

市民と行政が[※]協働し、地域福祉活動の充実を図りながら、地域で暮らす人々のお互いに支え合う意識を高めて、地域福祉を推進するまちを目指します。

■現状と課題

少子高齢化や核家族化が進行し、家庭や社会環境が大きく変化する中、誰もが住み慣れた地域において、家族や隣近所との温かなぎずなを保ち、ともに支え合うことによって、安心した生活を送ることができる地域社会の形成が求められています。

しかし、地域福祉を支えるボランティアは、一部の市民に限られている現状にもあり、身近な生活課題に対応していくためには、行政サービスだけではなく、地域住民や市民団体など、市民一人ひとりが福祉活動の担い手となり、お互いに協力・連携しながら地域福祉活動を進めていく必要があります。

このことから、地域住民や町内会、福祉団体などを支援しながら人材の育成と確保を図り、社会福祉協議会の事業活動や民生児童委員活動を充実させ、地域に密着した福祉活動の充実を図る必要があります。

■基本事業とねらい

①地域福祉活動の充実

地域福祉活動を行う地域住民や町内会、福祉団体などを支援するとともに、社会福祉協議会の事業活動や民生児童委員活動を充実させ、地域に密着した福祉活動の充実を図ります。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
民生児童委員の対応相談支援等件数	件/年	780	800	830

* 民生児童委員が相談支援等を行った件数

②地域福祉の担い手の育成

福祉教育の推進や地域活動団体間のネットワークづくりなどを行い、地域の人々がお互いに思いやりを持って支え合い、助け合うボランティア意識を高め、福祉活動へ積極的に参加する人材の育成と確保に努めます。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
福祉ボランティア団体構成員数	人	750	780	800

* ボランティアセンターに登録等をしている福祉ボランティア人数

用語解説

※ 協働……市民、町内会、ボランティア団体、事業者、NPO、行政などの多様な主体が、それぞれの役割を認め合いながら、対等な関係のもとに協力し合うこと。

施策 **2-5** 健康
健康づくりを進めるまちづくり

■目標

「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、市民自らが主体的に健康づくりに取り組むまちを目指します。

■現状と課題

ライフスタイルや食生活の変化などにより、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病が増加しています。

本市の死亡原因の6割は[※]生活習慣病で、そのうち3割を予防可能な心疾患、脳血管疾患が占めています。

生活習慣病は、寝たきりや認知症などの要介護者の増加、医療費や介護に要する市民負担の増大などにつながり、深刻な問題となっています。

今後、高齢化がますます進む中で、市民が健康で自分らしい生活を維持していくためには、一人ひとりが健康に関心を持ち、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組んでいくことが必要であり、そのためには、それぞれの[※]ライフステージに応じた健診体制や健診後の保健指導を充実させていくことが必要です。

母子保健については、社会的な環境の変化などにより晩婚化が進む一方、若年出産など、妊娠や出産を取り巻く環境が大きく変化しており、また、少子化や核家族化の進行により、孤立した家庭が増加し、育児不安や子どもへの虐待、子どもの心の病気などの問題を深刻化させています。このことから、関係者が連携しながら、妊娠期からの継続した支援体制を充実させていく必要があります。

その他にも、近年、新たな感染症の出現などが見られることから、発症に対しては、迅速で的確な対策を行うとともに、効果的な予防接種事業を推進する必要があります。

肥満者の割合の推移

(単位：%)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
20～60歳代男性	34.6	35.5	35.6	35.6	33.8
40～60歳代女性	24.3	25.3	24.0	22.6	20.2

(資料：ふれあいセンター)

がん集団検診受診者の推移

(単位：人)

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
胃 が ん	790	770	747	1,103	1,096
肺 が ん	2,160	2,196	2,179	1,332	1,383
子 宮 が ん	336	199	313	236	430
乳 が ん	240	259	266	267	452
大 腸 が ん	658	662	678	1,114	1,103
合 計	4,184	4,086	4,183	4,052	4,464

(資料：ふれあいセンター)

用語解説

※ 生活習慣病……日常生活習慣によって引き起こされる糖尿病、高血圧などの病気の総称。
※ ライフステージ……人間の一生における幼年期、児童期、青年期、壮年期、老年期などのそれぞれの段階。

基本事業とねらい

①健康づくり活動の推進

市民一人ひとりが健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、情報提供や学習機会の拡充を図るとともに、健康づくりを推進する各種団体等との連携を強化しながら、健康づくりの活動を推進します。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
20～60歳代男性の肥満者の割合*1	%	33.8	31.8	29.8
40～60歳代女性の肥満者の割合*2	%	20.2	19.0	18.0

*1 国保特定健診及び一般健診受診者のうち、BMI（体格指数）25以上の20～60歳代男性の割合
*2 国保特定健診及び一般健診受診者のうち、BMI（体格指数）25以上の40～60歳代女性の割合

②母子保健対策の充実

次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに生まれ育ち、生涯を通じた健康づくりのための生活習慣の基礎を築いていけるよう、医療機関や保育所等との連携を強化しながら、妊娠・出産・育児期を通して継続した支援を行います。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
乳幼児健診受診率	%	97.2	100.0	100.0

* 3～4カ月児・6～7カ月児・1歳6カ月児・3歳児健診を受診した乳幼児の割合

③疾病の予防・早期発見・早期治療の推進

各年齢期に応じた健診体制と、健診結果に基づいた保健指導の充実を図りながら、糖尿病等の生活習慣病の発症及び重症化の予防に努めます。

指 標 名	単 位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
がん検診受診者数	人/年	4,464	4,700	4,950

* 胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん検診を受診した年間延べ人数

関係個別計画

- ・健康すながわ21
- ・特定健康診査等実施計画
- ・砂川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画
- ・砂川市次世代育成支援地域行動計画

施策 2-6 医療 誰もが安心して医療を受けることができるまちづくり

目標

多様化する医療ニーズに応えることができるように、医療体制の充実を図り、誰もが安心して質の高い総合的な医療を受けることができるまちを目指します。

現状と課題

医療を取り巻く環境は、少子高齢化、疾病構造の変化などが進む中、市民の医療に対する考え方も、質の高い医療や安心できるきめ細やかなサービスの提供を求める傾向が強まるなど、医療に対するニーズが多様化・専門化してきています。

一方、住民の大病院・専門医志向などを背景に軽症者が安易に救急受診することや、医療訴訟リスクの増加、医師の過重労働などにより全般的に医師確保が困難となっていることから勤務医の疲弊が取り沙汰されており、このことから限られた医療資源を大切にす意識が重要視されています。

本市の医療は、2病院、6診療所により、役割分担や医療連携が図られており、中でも、*中空知地域センター病院である市立病院が、本地域の救急・急性期医療、がん診療、周産期医療等の高度専門医療を実践するとともに、高齢者認知症対策や臨床研修病院として医師の育成などにも取り組んでおり、良質で高度な医療サービスを提供しています。

平成22年には、改築された新市立病院が開院し、新たに救命集中治療センターなどを配備して、24時間、迅速で正確な対応を行うなど、高度化・専門化・近代化に対応した医療提供体制を充実、発展させ、医療のまちの核としての役割を担いながら、質の高い総合的医療の提供を進める必要があります。

また、各種医療情報の提供や患者サービスの向上、医療従事者の資質向上に取り組むとともに、地域医療連携ネットワークシステムの拡充など、医療機関との連携と機能分担の促進、医療資源の有効活用を図り、広域的連携を強化することも必要です。

そのような中、全国的な医師不足の中にあっても、医師確保を図っていく必要があり、また、医療制度や診療報酬制度の改革、新病院建設に伴う多額の起債償還、さらには、新病院の維持管理費の増加など、厳しい病院経営が予想されることから、経営基盤の安定と公立病院としての役割を踏まえた病院運営に取り組んでいくことが必要です。

医療施設と医療従事者の状況

医療施設（平成20年10月1日現在）			医療従事者（平成20年末現在）			
病院・一般診療所	歯科診療所	病床数	医師	歯科医師	看護師	准看護師
11カ所	11カ所	645床	81人	16人	399人	91人

（資料：中空地域情報年報）

用語解説

* 中空知地域センター病院……中空知地域の初期診療を支援する第二次医療機関であり、かつ、第二次保健医療福祉圏の中核医療機関。

砂川市立病院患者数の推移

(単位：日、人)

区分	入院				
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
患者数	161,418	153,207	145,954	139,659	135,119
診療実日数	365	365	366	365	365
一日平均患者数	442.2	419.7	398.8	382.6	370.2
区分	外来				
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
患者数	281,060	266,596	257,468	255,672	257,341
診療実日数	245	245	245	245	243
一日平均患者数	1,147.2	1,088.1	1,050.9	1,043.6	1,059.0

(資料：砂川市立病院)

③適切な医療情報の提供

市立病院が地域の基幹病院としての果たすべき役割や医療への取り組み情報、各種医療情報などを発信することにより、誰もが安心と信頼を寄せて受診していただき、医療のまちとしてのイメージアップに努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
市民公開講座等参加者数*1	人/年	198	200	200
市立病院ホームページへのアクセス数*2	件/年	55,289	80,000	105,000

*1 市立病院主催の医療に関する市民公開講座への参加者数
*2 市立病院ホームページへのアクセス件数

④健全な経営の推進

医療機能の充実や安全性を高め、必要とされる医療水準の確保に向けて、市立病院の合理的で健全な経営に努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
経常収支比率*1	%	100.5	95.4	100.5
病床利用率*2	%	71.1	83.0	83.0

*1 市立病院の経常的に支出される費用（給与費、材料費等）に対する収益の割合（100%以上は単年度黒字を表す）
*2 市立病院の許可病床数に対する入院患者数の割合

基本事業とねらい

①医療体制の充実

誰もが安心して健やかに暮らし続けることができるよう、道内医大などとの連携を強化しながら、市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たすとともに、救急医療、高度専門医療などの医療体制の充実を図り、地域住民へ質の高い総合的な医療を提供します。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
医師数*1	人	77	82	82
入院患者数*2	人/年	135,119	153,300	153,300
外来患者数*3	人/年	257,341	258,000	258,000

*1 市立病院に勤務する医師数 *2 市立病院に入院した年間延べ患者数
*3 市立病院の外来を受診した年間延べ患者数

②地域医療連携の強化

市内をはじめとする中空知地域の医療機関との役割分担と緊密な連携の促進や医療資源の有効活用を図り、医療を必要とする人が、恒常的に適切な医療サービスを受けることができるように広域的連携を強化し、地域における医療提供体制を構築します。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
地域医療連携ネットワークシステム参加医療機関数*1	施設	10	20	30
紹介件数（紹介状を持って市立病院を受診する件数）*2	件/年	4,912	5,300	5,500

*1 紹介・逆紹介患者の検査内容等情報が各医療機関で閲覧可能なネットワークシステムへの参加医療機関数
*2 他医療機関から紹介状を持って市立病院を受診した年間延べ件数



関係個別計画

・砂川市立病院改革プラン



施策 **2-7** 社会保障制度
社会保障制度の健全運営に努めるまちづくり

■ **目標**

社会保障制度の健全な運営に努め、経済的な自立の支援や相互扶助により、誰もが安心して生活できるまちを目指します。

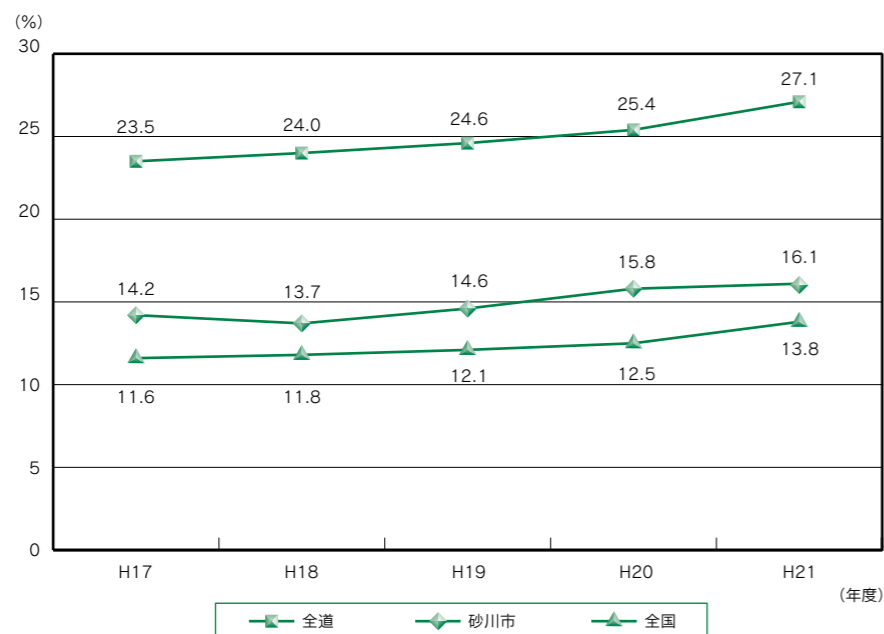
■ **現状と課題**

急速な少子高齢化の進行は、年金、医療保険、介護保険などの社会保障制度に影響を及ぼしており、このことは、給付や負担の面において市民生活にも波及しています。

社会保障制度が、将来にわたって公平で、安定的に持続できるよう、状況に応じて制度改革が行われていますが、市民一人ひとりが制度を正しく理解し、支えていく必要があります。

低所得者福祉については、長引く景気の低迷により、収入の減少、事業不振、倒産、解雇、就労できない高齢者及び傷病等により、生活困窮者が増加している傾向にあることから、適切な相談・調査により、生活に困窮する低所得者に対し、最低生活を保障するとともに、自立した生活に向けた支援に取り組む必要があります。

生活保護率の推移



(資料：市民部社会福祉課)

■ **基本事業とねらい**

① **低所得者福祉の充実**

生活に困窮する低所得者に対し、最低生活を保障し、安定した生活を送ることができるよう、相談・支援を行い、自立の促進を図ります。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
生活保護自立世帯数	世帯/年	11	13	15

* 各種就労支援等により、生活保護から自立した世帯数

② **地域保険の推進**

国民が何らかの形で医療保険に加入する「国民皆保険制度」を持続可能とし、市民を対象とする地域保険の健全な運営に努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
特定健診受診率	%	35.0	65.0	65.0

* 国保特定健診対象者に対する受診者の割合

③ **国民年金制度への理解と加入・納付の促進**

市民が年金受給資格期間を確保できるよう、効果的な制度周知活動により、国民年金制度の理解を深め、加入・納付を促進します。

* 国民年金は第一号法定受託事務であることから成果指標は設定しません。

④ **介護保険の充実**

介護を必要とする市民が住み慣れた地域で、安心して心豊かに暮らすことができるよう、介護保険制度の安定的な運営に努めます。

指標名	単位	現状値 (H21)	中間目標値 (H27)	最終目標値 (H32)
介護認定者総数に占めるサービス利用者の割合	%	74.2	→	→

* 要介護（要支援）認定者のうち、居宅介護（介護予防）サービス・地域密着型（介護予防）サービス・施設介護サービスを利用した人の割合



■ **関係個別計画**

- ・ 砂川市老人保健福祉計画
- ・ 介護保険事業計画

基本目標②

医療・保健・福祉